

## チャレンジコース（2年目）

団体名：さとうきびの里 南房総

代表者：三瓶 幸雄

### ◆ 団体の概要

千葉県の地域産業資源に新しく登録された南房総のさとうきびを使った、シロップの生産とさとうきび関連商品を研究開発する事で増え続ける休耕田の再活用を促進する「さとうきびの里」の創生を目指す団体です。

所在地：南房総市千倉町北朝夷（千倉地区）

会員数： 5名（令和4年3月現在）

### 【事業名】

さとうきびシロップ及び関連商品開発による「さとうきびの里づくり」

### 【事業の目的】

さとうきび栽培やさとうきびを使った製品は研究開発し、南房総に新しい産業を作る。

### 【事業の概要】

- 昨年から引き続き栽培を行っているさとうきびですが、今年は千倉町平磯地区に3反程圃場を増やしました。苗は昨年育てた瀬戸地区のさとうきびをカットし新しく借り受けた圃場に植え付けました。圃場の拡大に伴い収穫等の作業時間が増えましたが、イベント参加者が多く無事に収穫を終える事が出来ました。今後は収穫以外にも子供達が喜んでくれる様なイベントを行っていきます。
- 昨年植え付けを行った白間津地区のサトウキビが猪によって畑一面を食われてしまい害獣被害を実感させられました。
- 今期の収穫によりシロップの確保が出来た為、地元製造業の方々にサンプルを提供し新たな地域商品の創出をサポートします。
- バガスの活用として栄養価の高いバガスを粉碎して堆肥の発酵のスターターとして使用する実験を地元酪農家と行いました。産業廃棄物となる堆肥を地域農業に有効活用すべく、実用化に向けて研究を継続して行きます。
- 市外になりますが市原ゾウの国よりゾウがさとうきびを好物との事でバガスや梢頭部をゾウのおやつにしたいと声をかけて頂き実際に提供した所、喜んで食べたそうので観光業との関係も今後は築いていく事が可能と考えます。



昨年より育てていたサトウキビを苗として新しく3反分借り受けた平磯圃場に植え付けを行い栽培面積に拡大を行いました。

また、昨年同様刈り取りや絞り作業、シロップ製造を行いました。